

適性検査Ⅱ

ちゅう い
注 意

- 1 試験監督の先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 検査問題は、1 ページから 8 ページまであります。
- 3 解答用紙は、表と裏の両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答時間は、45分間です。
- 5 机の上の「受検票」をよく見て、解答用紙に、学校名、男女、受検番号をまちがいのないように書きましょう。

もんだいようし
問題用紙のあいている場所は、ぼしよ下書きや
したが
けいさん計算などに使用してもかまいません。
しよう

さとしさんが活動するスポーツ少年団では、今度の休日にお楽しみ会をすることになっています。さとしさんは、この少年団を指導している山田コーチから、お楽しみ会の計画を立ててほしいと頼まれました。そこで、同じ少年団で活動する、あきらさん、よしこさん、かつやさん、ともみさんとともに、5人で話し合いをすることにしました。次の会話文はそのときの様子です。

この会話文をよく読んで、(1)から(3)の問いに答えましょう。

さとし：それでは話し合いをはじめます。山田コーチからは、お楽しみ会についていくつかの約束ごとを言われています。それらを守りながら計画を立てようと思います。いいですか。

あきら・よしこ・かつや・ともみ：分かりました。

ともみ：山田コーチはどのようなことを言っていたの。

さとし：まず、私たちの小学校の教室を借りているので、お楽しみ会はそこでするように言っていました。

あきら：それなら、何かゲームをしようよ。

かつや：そうだね。例えば、チームを組んでみんなで楽しめる百人一首大会なんかどうだろう。教室なら2つの対戦を同時に行えるよ。

よしこ：いい考えだね。

さとし：でも、お楽しみ会のために使えるお金は3,500円までと山田コーチから言われているから、百人一首の札は買えないと思うよ。

よしこ：じゃあ、学校にある百人一首の札も借りられるかどうか、後で山田コーチに相談してみるね。

あきら：それじゃあ、3,500円は何に使おうか。

ともみ：私たちの少年団の人数は28人だから、山田コーチを除いて私たちだけで4チーム作るのがちょうどいいね。Aチームと

Bチーム、CチームとDチームが同時に対戦をして、次に、それぞれの勝ったチームどうしで対戦をして、優勝チームを決めましょう。そして、優勝したチームの人たちに何か賞品を用意するというのはいかがでしょうか。

さとし：今の提案をどう思いますか。

あきら・よしこ：いいと思います。

かつや：私は、優勝したチームの人たちだけではなく、全員に何か当たるほうがいいと思うよ。

ともみ：それなら、優勝したチーム以外の人たちにも賞品をあげることにして、優勝したチームの人たちには、それより高い値段の賞品をあげたらどうかな。

かつや：それならいいよ。

あきら：じゃあ、みんなに賞品を買うのなら、3,500円を余らせずにすべて賞品に使うことにしよう。

ともみ：それでいいけれど、もちろん、同じチームの人たちには同じ値段の賞品をあげることでいいよね。

さとし：じゃあ、ここまでの意見をまとめて、私からお金の使い方について提案します。

ア

あきら：そのような値段の決め方なら、ちょうど3,500円になるね。

かつや：でも、山田コーチには何もあげなくていいのかな。

よしこ：じゃあ、お楽しみ会のために使えるお金を増やしてもらえるように、私が山田コーチに相談してみるね。

さとし：それはよくないと思うよ。山田コーチとの約束を守らないことになっちゃうよ。

よしこ：そうだったね。

あきら：じゃあ、さとしさんの提案どおりで決めよう。

かつや：ところで、札を読む人はどうしようか。私たちから出すことにしようか。

ともみ：でも、私たちの中から札を読む人を出してしまうと、すべて

のチームを同じ人数で組むことができなくなっちゃうんじゃないかな。

よしこ：それなら、私たちの考えを山田コーチにお話しして、山田コーチに札を読んでももらえないかどうか相談してみようかな。

さとしさん、この相談ならしてもいいよね。

さとし：そうだね。じゃあ、お願いしますよ。

あきら：他に考えておくことはないかな。

よしこ：そうだね。チームの決め方も考える必要があるね。

かつや：それは、私たちが話し合っ^て決めていいんだよね。

さとし：そうだね。みんなが納得できる方法を考えることにしよう。

そうそう、山田コーチから、お楽しみ会に使える時間は2時間までと言われているから、この時間で全部終われるかどうか、私たちが確認しなくちゃね。

(1) さとしさんが山田^{やまだ}コーチから守^{まも}るように言^いわれている約^{やく}束^{そく}ごとは、
どのようなことでしょうか。会^{かい}話^わ文^{ぶん}中^{ちゆう}から判^{はん}断^{だん}できることを、すべ
て書^かきましょう。

(2) よしこさんが実^{じっ}際^{さい}に山田^{やまだ}コーチに相^{そう}談^{だん}することになったのは、ど
のようなことでしょうか。会^{かい}話^わ文^{ぶん}中^{ちゆう}から判^{はん}断^{だん}できることを、すべて
書^かきましょう。

(3) 会^{かい}話^わ文^{ぶん}中^{ちゆう}の

ア

 に当^あてはまるように、最^{さい}終^{しゆう}的^{てき}に
ま^まと^とま^まった^たみ^みん^んな^なの^の意^い見^{けん}を^をす^すべ^べて^て取^とり^り入^いれ^れな^なが^がら、さ^さと^とし^しさ^さん^んが
提^{てい}案^{あん}した^{した}内^{ない}容^{よう}を^を書^かき^かま^まし^しよ^う。

2

わたし りよう でんしゃ み あみだな にもつ お たな
私たちが利用する電車をよく見ると、網棚（荷物を置くための棚）
のああるでんしゃ でんしゃ
のある電車とない電車があります。

あみだな でんしゃ
網棚のある電車

あみだな でんしゃ
網棚のない電車

あみだな
網棚



つぎ はつげん でんしゃ あみだな こえ よ
次の発言は、電車の網棚についての声をまとめたものです。よく読んで、(1)と(2)の問いに答えましょう。

えきいん わたし かいしゃ きやくさま でんしゃ の じかん みじか
駅員A： 私たちの会社では、お客様が電車で乗っている時間が短いので、電車の網棚を設けていません。荷物は置けませんが、お客様の荷物の置き忘れが少ないので助かります。

じょうきやく わたし りよう でんしゃ あみだな
乗客B： 私がいつも利用している電車には網棚がありますが、そこに荷物を置いたことはありません。私は網棚に手が届かないので、荷物を置きたくても置けません。

えきいん でんしゃ こ にもつ ざせき お でんしゃ
駅員C： 電車が混んでいるときには、荷物を座席に置かずに、電車に設けている網棚に置いていただくようお願いし、より多くのお客様にお座りいただけるようにしています。

じょうきやく わたし ふだんりよう でんしゃ あみだな にもつ あみだな
乗客D： 私が普段利用している電車には網棚があり、荷物を網棚に置くことができ便利です。ところが、旅行先でたまたま乗った電車で、網棚がないことに気付かず、いつもどおり荷物を置こうとして、危なく荷物を座席の上に落としそうになりました。

じょうきやく わたし りよう でんしゃ あみだな けつ りよう
乗客E： 私が利用する電車には網棚がありますが、決して利用することはできません。なぜなら、以前、大切な荷物を置き忘れてしまったからです。

(1) 次の表は、電車に網棚がある場合とない場合のそれぞれについて、
 駅員や乗客たちの発言をまとめた表です。

表の中の(① [])から(⑤ [])に、
 AからEの駅員や乗客たちの発言から考えて、「[D]荷物を置ける。」
 のように、発言者とその発言の内容を書きましょう。

	電車に網棚あり	電車に網棚なし
長所	[D] 荷物を置ける。 (① [])	(② [])
短所	(③ []) (④ [])	[A] 荷物を置けない。 (⑤ [])

(2) あなたは、電車には網棚がある方がよいと思いますか。それとも、
 ない方がよいと思いますか。どちらの考えがよいのかについて、あ
 なた自身の立場を明らかにして、自分の考えを他の人に伝える
 文章を書きましょう。

また、次の条件に合わせて書くようにしてください。

条件ア	どちらの考えがよいのかについて、必ず書くようにしてく ださい。
条件イ	AからEの駅員や乗客たちの発言の中から、あなた自身の 立場を強くすると思われる発言の内容を1つ取り上げてくださ い。
条件ウ	AからEの駅員や乗客たちの発言の中から、あなた自身の 立場を弱くすると思われる発言の内容を1つ取り上げて、さら に、それに対してあなたが考えた解決方法を示してください。 い。
条件エ	文章を短くするのはかまいませんが、どんなに長くても、 200字以内で書いてください。「。」や「、」も1字として数えて ください。

これで、てきせいけんさ適性検査Ⅱのもんだい問題はお終わりです。

平成28年度 市立札幌開成中等教育学校入学者選考
適性検査Ⅱ